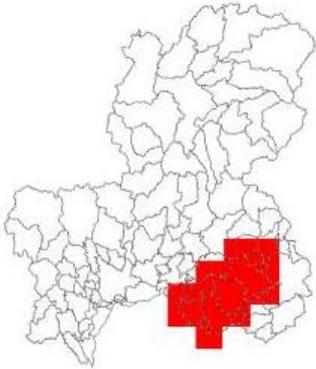


ヒナノカンザシ	<i>Salomonina ciliate</i> (L) DC,	絶滅危惧Ⅱ類
		ヒメハギ科
選定理由	生育地点、生育面積共に少なく極めて限定的で、個体数も非常に少ない	写真(箕浦博之) 
形態の特徴	小さな1年草。茎は細く直立し高さ5-25cm、葉は長さ3-14mm、花期は8-9月、細長い穂状花序につく。	
生態的特徴	日当たりの良い湿地で大きい草や木の無い所にはえる。	
分布状況	本州から九州に分布する。岐阜県では県南の東部と中部に見られる。	
減少要因	開発等による湿地の減少。放置による遷移の進行。獣の掘り返しなど。	
保全対策	湿地の保全	
特記事項	最近イノシシにより自生地が壊滅状態になったのを見た。害獣対策を早急に行うこと。	
参考文献		